

株式会社松竹映画 伊藤忠商事株式会社 松竹映画 松竹株式会社 配給

監督 勅使河原 宏

原作 野上彌生子 (秀吉・利休) 中央公論社より

脚本 赤瀬川原平・勅使河原 宏 / 音楽 武満 徹 / 衣装デザイン ワタエミ

撮影 森田富士郎 / 美術 西岡善信・重田重盛

後援 表千家・裏千家・武者小路千家

協力 草月会

三國連太郎・三田佳子・松本幸四郎・中村吉右衛門・岸田今日子・山崎 努

利休



解説

戦国世の時代を経て、やがてもたらされた安土桃山時代。この時代は、遠くヨーロッパで興ったルネッサンスにも似て、それまでとは異なり新しい文化が萌芽した時代であった。そしてまた、時の権力者織田信長や豊臣秀吉の庇護の下で、外來に触れ、日本が燃え盛った時代であったとも言える。なかでも利休によって体系化されたと言われる「茶の湯」は、明日も知れぬ時代に「茶」を通じて精神の世界へと導き人間性をとりもたずいば芸術であった。京都・山崎にたつた「屋のむく」の極致「待庵」を作り、また一方では秀吉の命により贅の限りを尽くした「黄金の茶室」を作り出すといった利休のスケールの大きな創造力と権力者に対するその姿勢は彼の死後四百年を経た今日もなお我々に感動を与えまうおかない。

この日本のルネッサンス人とも言べき利休は、どのように生き、どのように死んでいったのか。

この映画は、絢爛たる桃山文化を限りなく精緻に再現しながら茶聖・利休の鮮烈な生涯をドラマティックに描く作品である。

原作は野上彌生子の水遠のベストセラー「秀吉と利休」。権力者秀吉と求道者・利休の蜜月と葛藤を描く不朽の名作である。

監督には、勅使河原宏、二十五年前「砂の女」で若き映像作家としてカンヌ映画祭審査員特別賞、その後別荘「画家」として、またいけばなの草月流第三代会元として創作活動に身を置き、世界的に幅広く活躍している彼が今回、17年ぶりに復帰して映画を手がける。

脚本は、芥川賞作家であり画家である赤瀬川原平。初めての映画脚本に挑み、勅使河原監督との二年わたる推察ののち完成に到った。

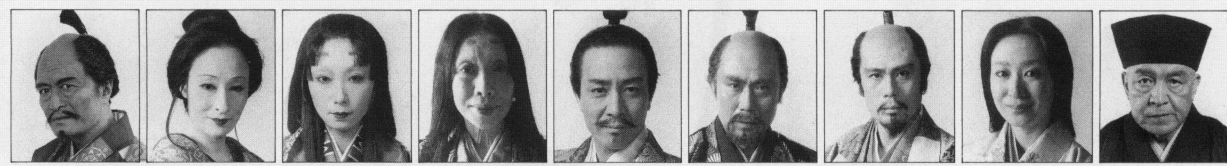
——織田信長の茶頭として仕えた利休は、その後天下を平定した秀吉の茶頭となる。秀吉と利休、人の愛と憎しみを秀長・家康・三成成して妻りきなどかれを取り巻く人々によって反響し増幅されながら、やがて破局へとむかっていく。

この作品の製作にあたっては日本を代表する芸術スタッフが集まった。

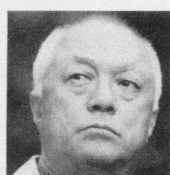
衣装デザインには「乱」でアカデミー賞を受賞したワタエミがあたり、二百着を超える絢爛豪華な桃山衣装をデザインした。また、音楽にはこれまで数々の音楽賞を受賞、世界的に有名な武満徹、そして美術には映画美術の第一人者西園善信と最高の映画製作陣である。

キャストには、利休に名優・三國連太郎、秀吉に山崎努、利休の妻りにトップ女優・三田佳子のほか信長に松本幸四郎、家康に中村吉右衛門、石田三成に坂東八右衛門、忠興に中村橋之助と歌舞伎界からもスターが出演。また、秀長に田村亮、北政所に岸田今日子のほか茶々には世界のトップ女優・山口小夜子顔を揃えるなどこれ以上ないほど多彩なキャストラインナップである。またこの作品の撮影に際して、やきものでは長次郎茶碗、萬瀬戸茶碗など桃山時代の一級美術品が数多く使われたほか、歴史家の監修の下で聚楽第、京都御所、黄金の茶室、淀城など当時の忠実なセットが再現されたのも大きな話題である。

映画「利休」は、文字通り日本映画史にエポックをつくる作品である。



監督の言葉 勅使河原 宏



千利休にひかれるようになって随分になる。茶の湯という、何か鬱陶しい思い付きまとい、その頃は利休にも馴染めないものがあつたのだが、十五年前、越前焼の茶碗を始めるようになってから桃山の茶陶を知つたのがきっかけで、俄然利休に対する認識を改めるようになった。

桃山の陶芸は、自由奔放、強靱にして繊細、人の心をよくなく豊にしてくれる魅力に溢れたものだ。それは焼きもの常識をうち破つて新鮮であつた。中国でもない、朝鮮でもない、南蛮でもない、それらの影響が微妙に響き合い、融け合ひながら、数奇者の理想をあまねく表現に至らした稀に見る革命的な創造であつた。桃山時代の茶碗、水指、花生など、今日に伝わる名品にはそれを証明する瑞瑤しい輝きが今だに健在で、芸術の普遍性を誇つてゐる。

また利休の作といわれる京都山崎の茶室「待庵」に正座するならば、わずかに二畳の空間が、われわれに幽遠というものを教えてくれる。

利休は一点にとどまる人ではなかつた。常に時代を透視し、「物」を通じて精神世界へ導引していく方法を見事に完成させたのであつた。建築、露地、道具、焼きもの、美術を総合的に捉えて、劇的な演出を可能にしたのである。

「茶の湯は御政道なり」といわれた時代、信長・秀吉の茶頭を務め、諸大名の統合に大いに力を發揮したその秘密は、彼が芸術至上主義者であるよりも、茶の湯を通じて芸術運動を志向したからに他ならない。

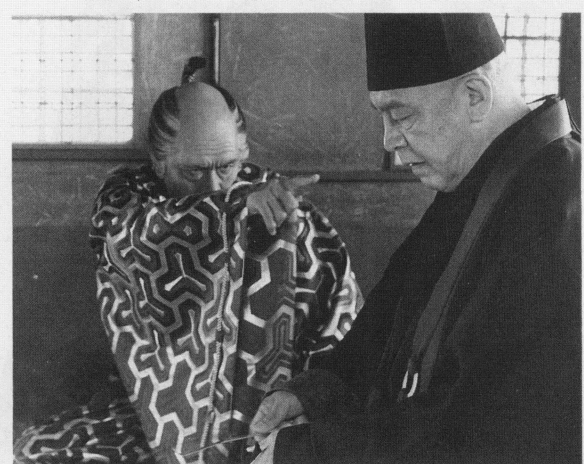
私は、ルネッサンス人・利休が果たした役割を、もう一度じっくりと見直すことによつて、人間世界における文化の重要性を考えてみたいのである。

利休

利休 RIKYU 利休

勅使河原宏 監督作品

- 千利休……………三國連太郎
- りき……………三田佳子
- 織田信長……………松本幸四郎
- 徳川家康……………中村吉右衛門
- 大和納言秀長……………田村亮
- 北政所……………岸田今日子
- 大政所……………北林谷楽
- 茶々……………山口小夜子
- お竜……………藤田芳子(新人)
- 石田三成……………坂東八右衛門
- 古田織部……………嵐圭史
- 細川忠興……………中村橋之助
- 古溪和尚……………財津一郎
- 鳥飼彌兵衛……………観世栄夫
- ちか……………江波杏子
- 山上宗二……………井川比佐志
- 豊臣秀吉……………山崎努



- 製作総指揮……………奥山融
- 製作顧問……………松井隆治
- 企画……………奥本篤志
- 製作……………勅使河原宏
- 製作補……………山内静夫
- プロデューサー……………峰村永夫
- 原作……………渡邊一夫
- 脚本……………森吉祐
- 撮影……………前吉祐
- 美術……………森江宏
- 衣装デザイン……………野村紀子
- 音楽……………上村力
- 後援……………野上彌生子
- 協力……………「秀吉と利休」より(中央公論社刊)
- 赤瀬川原平
- 勅使河原宏
- 森田富士郎
- 西岡善信
- 重田重盛
- ワタエミ
- 武満徹
- 裏千家
- 武者小路千家
- 草月会

パルテノン多摩新春特別上映
 パルテノン多摩/小ホール
 '90 1月12日(金) 13日(土) 発売日:12月8日(金)

【時間】 第1回▶10:00 第2回▶13:00 第3回▶16:00 第4回▶19:00
 【入場料】 一般1,200円 シネメイト1,000円
 【発売所】 チケットパルテノン(パルテノン多摩2F) ●チケットセゾン 永山店(ウリナード永山3F) ●京王インフォメーション「カインド」聖蹟桜ヶ丘店・多摩センター店
 (注) 電話予約はできませんので、直接販売窓口にお申し込み下さい。
 お問合せ先 ☎0423-76-8181 主催:財団法人多摩市文化振興財団 〒206多摩市落合2-35 ☎0423-75-1414